

衆議院地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月13日（水）、第3回の委員会が開かれました。

1 地域活性化・こども政策・デジタル社会形成の総合的な対策に関する件

・河野国務大臣、加藤国務大臣、自見国務大臣、工藤内閣府副大臣、船橋総務大臣政務官、こやり国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）中川郁子君（自民）、岡本あき子君（立憲）、中谷一馬君（立憲）、河西宏一君（公明）、高橋千鶴子君（共産）、赤木正幸君（維教）、伊東信久君（維教）、早稲田ゆき君（立憲）、福田昭夫君（立憲）、田中健君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

中川郁子君（自民）

- （1） 令和5年の地方分権改革に関する提案募集への対応
- （2） 日本版DBS導入の必要性
- （3） 里帰り出産に関する住所地と里帰り先の自治体間の連携
- （4） 認定こども園制度に係る幼稚園教諭免許と保育士資格の特例期限

岡本あき子君（立憲）

- （1） こども未来戦略方針と子ども・子育て支援金
 - ア 実質賃金指数と婚姻率との相関関係
 - イ こども家庭庁の独自指標である「こども1人当たり家族関係支出（対GDP比）」
 - a 国際比較において意味をなさないとの批判
 - b 少子化が進むほど数値が上がる同指標の今後の使用見込みと目標値
 - ウ 支援金を上乗せした加入者1人当たりの保険料の負担金額
- （2） ライドシェアにおける輸送の安全性とドライバーの責任
- （3） 自治体情報システム標準化の進捗状況
- （4） 地方創生のために地方分権を加速させる必要性

中谷一馬君（立憲）

- （1） 少子化対策
 - ア 大臣としての仕事と子育ての両立のための課題等に関する加藤大臣の所見
 - イ 子どもの数、労働時間量、余暇時間量の関係についての政府の見解
 - ウ 若者・子育て世帯に対する政府の支援策
- （2） インターネット投票
 - ア 在外投票への導入に向けた検討状況
 - イ 実現に向けた与党内の合意形成の促進に関する河野大臣の所見
 - ウ 投票コスト削減効果の試算の必要性

河西宏一君（公明）

- （1） 子ども・子育て政策の財源
 - ア 子ども・子育て支援金の負担額の具体的なモデルケースを示す必要性
 - イ 令和5年度及び令和6年度の社会保険負担軽減額に算入されていない追加的負担額

- ウ 社会保険に係る国民負担率に関する政府の見解
 - エ 子ども・子育て支援金の法的性格
- (2) 高等教育無償化の対象世帯を拡大する必要性

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 旧優生保護法一時金支給をより踏み込んだ形で行う必要性
- (2) こども未来戦略
- ア 「加速化プラン」の予算規模
 - イ 子ども政策に係る国民の負担の在り方
 - ウ 子ども政策と賃上げの関係

赤木正幸君（維教）

ふるさと納税制度の在り方

伊東信久君（維教）

- (1) ふるさと納税制度の在り方
- (2) 奨学金制度の充実

早稲田ゆき君（立憲）

- (1) マイナ保険証の利用率
- (2) 能登半島地震におけるマイナンバカードの利用に関する検証
- (3) ライドシェア
- (4) 共同親権を導入する民法改正案

福田昭夫君（立憲）

- (1) 首都直下地震の可能性と被害想定
- (2) 人口減少下の東京圏への人口流入
- (3) 国の予算及び決算の見える化の必要性

田中健君（国民）

- (1) デジタルプラットフォーム規制
- (2) ガバメントクラウドへの国内企業の参入
- (3) ベビーシッター利用者支援事業
- (4) 生殖補助医療

2 令和六年度出産・子育て応援給付金に係る差押禁止等に関する法律案起草の件

- ・谷委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。

(賛成－自民、立憲、維教、公明、共産、国民)

3 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・谷委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・衆議院規則第 48 条の 2 の規定により内閣の意見を聴取したところ、加藤国務大臣から「異議はない」旨の発言がありました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。

(賛成－自民、立憲、維教、公明、共産、国民)

4 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する件

- ・田中英之君外 5 名から提出された旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する件の決議案について、提出者岡本あき子君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。

(賛成－自民、立憲、維教、公明、共産、国民)

- ・加藤国務大臣から発言がありました。